

- 問1 奈良時代に、中国（唐）から日本へ招かれて仏教の教えを伝えた僧侶はだれでしょう。
- 問2 604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりは何ですか。
- 問3 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。
- 問4 古墳時代とは、どのような時代ですか。
- 問5 藤原氏が栄えたころに、都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を何といいますか。
- 問6 645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めた政治の改革を何といいますか。
- 問7 奈良時代の役所や遺跡からたくさん見つかっている、荷物につけられた「木の札」のことを何といいますか。
- 問8 縄文土器と比べて薄くて硬いという特徴があり、弥生時代に使われるようになった土器は何ですか。
- 問9 須恵器をつくるときに使われた、新しい製法の設備は何ですか。
- 問10 聖徳太子が仏教を信仰し、国を平和にしようとして奈良県に建てた、世界最古の木造建築物がある寺はどこですか。
- 問11 聖武天皇が、全国の国ごとに「国分寺」を建てるよう命じた一番の目的は何ですか。
- 問12 奈良時代に、聖武天皇の命令によって「国ごとに建設」されることになった寺院の名前は何かですか。
- 問13 寝殿造は、どのような人たちが住んだ大きなやしきの建築様式ですか。
- 問14 平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰した、広島県廿日市市にある世界遺産に登録されている神社はどこですか。
- 問15 打製石器が使われていたのは、何という時代ですか。
- 問16 鑑真が命がけで日本に来た目的は、主に何をするためだったのでしょうか。
- 問17 武士団の中でも特に強い勢力を持ち、朝廷の命令で地方の反乱をしずめるなどして重く用いられた二つの大きな勢力をまとめて何と呼びますか。
- 問18 平安時代に、貴族が住んだ大きなやしきの建築様式を何といいますか。
- 問19 4世紀ごろ、奈良盆地を中心とする大和地方の豪族たちが連合してつくった、強大な力をもつ国のことを何といいますか。
- 問20 かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物はだれですか。
- 問21 古墳時代に、大和朝廷を率いていた王のことを何とよびますか。
- 問22 聖武天皇が東大寺に巨大な大仏をまつた、一番の目的は何だと考えられますか。
- 問23 奈良時代は、平城京に都がつくられてから都が京都に移されるまで、およそ何年間続いた時代ですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 鑑真	鑑真は、当時の中国（唐）から、日本人々に仏教の正しい教えやルールを伝えるためにやってきました。何回もの危険な航海を乗り越えて日本にたどり着いたことでも有名です。
問2	答え 十七条の憲法	604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりを「十七条の憲法」といいます。
問3	答え 蘇我氏	聖徳太子は、当時の有力な豪族であった蘇我氏と協力して、新しい国づくりを進めました。
問4	答え 全国各地に古墳がつくられた時代	古墳時代は、全国各地に古墳と呼ばれる大きなお墓がつくられた時代のことです。
問5	答え 国風文化	藤原氏が栄えたころに都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を国風文化といえます。
問6	答え 大化の改新	645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが始めた、天皇中心の国づくりを目指す政治の改革を大化の改新といえます。
問7	答え 木簡	木に文字を書いて記録する道具を「木簡（もっかん）」といえます。当時はまだ紙がとても貴重で高価だったため、荷物の送り主や中身を書くために木片が使われていました。この木簡のおかげで、当時の人たちがどのような生活をしていたのかを詳しく知ることができません。
問8	答え 弥生土器	弥生時代に使われるようになった、縄文土器よりも薄くて硬い土器を弥生土器といえます。
問9	答え のぼりがま	須恵器は、のぼりがまという新しい設備を使った製法でつくられたことが特徴です。
問10	答え 法隆寺	聖徳太子が奈良県に建てた法隆寺には、世界で最も古い木造の建物が残されています。
問11	答え 仏教の力で国を安定させるため	聖武天皇は、当時の社会が不安定で人々の不安が大きかったことから、仏教の力によって国全体を平和で安定した状態にしようと考えました。そのため、日本各地の「国」ごとに国分寺というお寺を建てることを命じ、仏教を通じた国づくりを進めました。
問12	答え 国分寺	聖武天皇が全国に建てるよう命じたのは国分寺です。東大寺は国分寺の総本山として特別な役割を持っていましたが、国分寺という名称自体は、全国各地に建てられた寺院を指す言葉です。
問13	答え 貴族	寝殿造は、平安時代の貴族が住むための大きなやしきの建築様式です。
問14	答え 厳島神社	広島県廿日市市にある厳島神社は、平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰したことで知られる世界遺産です。
問15	答え 旧石器時代	打製石器は、旧石器時代に使われていた石器です。
問16	答え 仏教の正しいルールや教えを広めるため	当時の日本には、仏教の教えを正しく守るための「戒律（かいりつ）」というルールがしっかりと整っていませんでした。鑑真は、仏教を正しく学びたいという日本の僧侶たちの願いに応じて、厳しいルールを正しく伝えるために来日しました。
問17	答え 源氏と平氏	武士団の中で特に勢力を伸ばし、朝廷の命令で反乱をしずめるなどして活躍した二大勢力を「源氏と平氏」と呼びます。
問18	答え 寝殿造	平安時代に貴族が住んだ、大きなやしきの建築様式を寝殿造といえます。
問19	答え 大和朝廷	4世紀ごろに奈良盆地を中心とする豪族たちが協力してつくった、強い力をもつ国を大和朝廷といえます。
問20	答え 清少納言	かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物は、清少納言です。
問21	答え 大王	古墳時代に大和朝廷をまとめていた王は「大王（おおきみ）」とよばれていました。
問22	答え 仏教の力で国を平和に守るため	当時の日本は、病気やききんなどが続き、社会が不安定でした。聖武天皇は、仏教の教えを大切にしてお寺や大仏を建てることで、仏様の力によって国を平穏で幸せな場所にしよう

と強く願ったのです。

問23 答え
約80年間

奈良時代は、平城京に都がつくられてから都が京都に移されるまでの約80年間の時代です。
